

2026 年度

東京藝術大学

大学院映像研究科（博士後期課程）

映像メディア学専攻

2025 年 8 月 1 日

学生募集要項

東京藝術大学

目次

大学院映像研究科（博士後期課程）アドミッション・ポリシー	1 頁
1 募集概要	1 頁
2 修了要件	1 頁
3 学位	1 頁
4 入学者選抜について	1 頁
5 募集人員	2 頁
6 出願資格	2 頁
7 標準修業年限	2 頁
8 指導教員	3 頁
9 出願方法	3 頁
1. インターネット出願登録前の確認及び準備	5 頁
2. インターネット出願登録	5 頁
3. 入学検定料の支払い	7 頁
4. 必要書類の郵送	8 頁
5. 受験票の印刷	10 頁
10 試験の内容及び採点・評価の基準	10 頁
11 合否判定基準	11 頁
12 入学試験の内容・日程等	11 頁
13 TOEFL又はTOEICの成績証明書（スコア）の提出	12 頁
14 入学試験の実施方法	13 頁
15 合格者発表	13 頁
16 入学手続等	14 頁
17 「入学料・授業料免除・徴収猶予」について	14 頁
18 外国人留学生への注意事項	15 頁
19 入学試験情報の開示請求	16 頁
20 個人情報の取扱いについて	17 頁
21 大学院映像研究科（博士後期課程）入試説明会の実施について	17 頁

○大学院映像研究科（博士後期課程）アドミッション・ポリシー

映像研究科博士後期課程では、映像に関する幅広い知識を有機的に結びつけられる芸術家、研究者を求めています。入学試験にあたっては、これまでに行ってきた活動を総合的に評価し、特に映像に関する知識を公的に共有できる能力を重視します。

1 募集概要

大学院映像研究科（博士後期課程）映像メディア学専攻について

映像表現と技術革新が相互に牽引して発展する今日、映像に関する幅広い知識を有機的に結びつけられる芸術家、研究者が求められている。映像メディア学はそれに応えるものとして、映像を用いて同時代性の高い表現を追求すること、表現手法や基盤技術を開拓することを中心課題とする分野である。また学問への社会的要請として、映像が文化の中で担ってきた役割を明らかにして将来の発展の可能性を示すこと、従来は創作者の経験にとどまっていた知見を公的で共有可能な知識にすることが期待されている。東京藝術大学大学院映像研究科は創作の現場を持つ特色を生かし、理論と実践の両面から研究を深める環境を整えている。修士課程で映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻を担当する教員が、博士後期課程では一つの映像メディア学専攻に集まって講義と演習を行う。個々の学生に対しては、主任指導教員と副主任教員が継続して指導にあたる。学年の進行に応じて研究会発表やサーベイ論文提出を行い、活動業績に基づく予備審査を経て博士論文を提出するプログラムを用意している。博士論文の提出に向けては、大きく分けて理論中心の研究方法和、実践中心の研究方法を取ることができる。理論中心の研究方法は、従来から行われているように、論文によって成果を示すものである。実践中心の研究方法は、作品の展示や上映の形で成果を発表し、相補的な関係にある論文と合わせて研究成果とするものである。実践中心の研究方法は近年、特に芸術分野の博士課程で世界的に広まりつつある。いずれの場合も複合的な分野の性質を反映して、研究科外の専門家を含む委員会を設けて審査を行う。これまでの修了者は、大学教員、独立した研究者、アーキヴィストなど専門性の高い仕事に携わっている。

2 修了要件

本研究科（博士後期課程）に3年以上在学、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。

※研究内容によっては論文審査に加え、作品審査を行う場合もある。

3 学位

本研究科（博士後期課程）映像メディア学専攻を修了した者には、「博士（映像）」又は「博士（学術）」の学位を授与する。

4 入学者選抜について

博士後期課程在籍中に、高度な研究を継続的に行う資質を判断するために、これまでに芸術活動を行ってきた者にあつては、課程入学以前に制作された作品の質を評価し、能力の有無をみる。

また、研究者においては、論文あるいは著作等の研究成果を評価するとともに、継続的な研究を遂行できるためのコミュニケーション能力の有無をみる。

なお、入学志願者は具体的な研究計画の提出が求められる。

5 募集人員

専攻	研究領域	募集人員
映像メディア学	映像メディア	3

6 出願資格

本研究科（博士後期課程）に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者（2026年3月までに学位取得見込みの者を含む。）
 2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込みの者を含む。）
 3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込みの者を含む。）
 4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込みの者を含む。）
 5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに修士の学位に相当する学位を取得見込みの者を含む。）
 6. 外国の学校、出願資格4の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の実力があると認められた者（2026年3月までにこれに該当する見込みの者を含む。）
 7. 文部科学大臣の指定した者
 - ①大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ②外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 8. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- （注）出願資格7又は8により出願を希望する者には、個別に出願資格審査を行うため、「入試情報サイト（<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/fnm/application/>）」よりダウンロードした申請書及び本研究科が指定した書類等を2025年10月30日（木）17:00（郵送・必着）までに大学院映像研究科教務係へ提出すること。

7 標準修業年限

3年

8 指導教員

専攻	研究領域	指導教員	
映像メディア学	映像メディア	教授	伊藤 有彦
		教授	市山 尚三
		教授	大石 みちこ
		教授	岡本 美津子
		教授	桐山 孝司
		教授	塩田 明彦
		教授	諏訪 敦彦
		教授	高山 明
		教授	谷川 創平
		教授	長瀧 寛幸
		准教授	服部 浩之
		教授	布山 タルト
		准教授	牧 奈歩美
		教授	三ツ松 けいこ
		教授	山城 知佳子
		教授	山村 浩二
		教授	横山 昌吾

9 出願方法

本研究科（博士後期課程）の出願手続は、インターネット出願である。以下1の確認と準備を実施し、以下2，3の手続を指定された期間内に行って、以下4のとおり必要書類を郵送すること。郵送された書類により出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となる。出願が受理されると、以下5のとおり「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。

- ・入試情報サイト URL <https://admissions.geidai.ac.jp/>
- ・インターネット出願サイト URL <https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>

1	インターネット出願登録前 の確認及び準備 (5 頁参照)	
2	インターネット出願登録 (6 頁参照)	「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を登録すること。
3	入学検定料の支払い (7 頁参照)	上記2の完了後、「インターネット出願サイト」から入学検定料の支払手続を行うこと。インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59までに入学検定料の支払手続が行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため注意すること。
4	必要書類の郵送 (8 頁参照)	上記3の完了後、「インターネット出願サイト」及び「入試情報サイト」から必要書類を印刷し、他の必要書類とともに本研究科に郵送すること。
5	受験票の印刷 (10 頁参照)	出願資格が確認されて出願が受理されると、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して受験時に持参すること。

○「インターネット出願サイト」の操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079

※平日 10:00～18:00、土日祝日・年末年始を除く。出願期間中は24時間対応。

※日本語のみ

メール：cvs-web@career-tasu.co.jp

※日本語・英語対応

※入試に関する質問についてはお答えできません。

○受験に関する質問は以下に問い合わせること。

東京藝術大学大学院映像研究科教務係

電話：045-650-6201（平日 9:00～17:00 土・日・祝日・年末年始を除く。）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせること。

○出願期間 ※以降の日時表記は日本標準時（JST）とする。

インターネット出願登録期間	2025 年 11 月 20 日（木）10:00 から 2025 年 11 月 26 日（水）23:59 まで
入学検定料支払期間	2025 年 11 月 20 日（木）から 2025 年 11 月 27 日（木）まで
郵送による必要書類提出期間 （消印有効期間）	2025 年 11 月 20 日（木）から 2025 年 11 月 27 日（木）まで

1. インターネット出願登録前の確認及び準備

パソコン等の動作環境の確認	インターネット出願は、以下の環境で行うこと。 【PC 利用時推奨ブラウザ】 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えること。 【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】 ・iOS 12 以降 ・Android 8 以降 ・iPadOS 13 以降 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。 ※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用すること。	
メールの設定	志願者が登録したメールアドレスに no-reply@e-apply.jp からメールが以下のとおり 4 回送信されるため、あらかじめ受信できるように設定しておくこと。 ・マイページ登録時の初期パスワードお知らせメール ・インターネット出願登録完了時の自動返信メール ・入学検定料支払手続完了時の自動返信メール ・受験票の印刷が可能になった際の通知メール	
写真の用意	脱帽, 上半身, 正面向, 背景なし, 出願前 3 か月以内に撮影したカラー写真データ (2 MB まで) を用意すること。 (右の画像を参考にして撮影すること。縦長であること。比率は縦 4 : 横 3 が望ましい。) ※使用できない写真の例 不鮮明なもの, 背景が暗いもの, 顔が横向きのもの, 複数名で写っているもの, 画像に加工を施しているものなど。	
出願資格を証明する書類	8 頁～9 頁参照の上、出願に必要な書類はあらかじめ用意しておくこと。	
封筒の用意	必要書類提出に使用するため、市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) を用意しておくこと。	
用紙の用意	「インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/)」及び「入試情報サイト (https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/)」から必要書類を印刷できるよう A4 サイズ, 白色の用紙を用意しておくこと。	

2. インターネット出願登録

2025 年 11 月 20 日 (木) 10:00 ～ 2025 年 11 月 26 日 (水) 23:59

○手順

インターネット出願登録期間内に「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>)」トップページの「Web 出願」から「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」にアクセスし、出願に必要な情報を登録すること。

「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」にアクセス



マイページ登録

トップ画面「マイページ登録」（オレンジ色のボタン）をクリックし、入力画面に従い、個人情報等を事前登録すること。



志望先登録

マイページにログインした後、「出願手続きを行う」をクリックする。
トップページにある「映像研究科」を選択して「次へ」進むこと。
志望課程・志望する専攻・志望する研究分野・領域を選択し「次へ」進むこと。

※入学検定料免除制度：該当項目がある場合はチェックを入れ、該当しない場合は何も入力せずに「次へ」進むこと。



個人情報の登録・顔写真データのアップロード

写真：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること（5頁参照）
マイページ登録の際に登録した氏名、住所等の個人情報が自動的に転記されるため、内容を確認すると。
その他の本籍又は国籍、受験時の連絡先等の必要事項を全て入力すること。
指導を希望する教員、学歴、職歴、賞罰、免許・資格等の必要事項を入力し、「次へ」進むこと。
なお「指導を希望する教員」入力の際は3頁を参照すること。



申込内容の確認

入力内容に誤りがないか確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」をクリックすること。



出願登録の完了

画面に受付番号が表示されたら登録は完了となる。
「引き続き支払う」をクリックして、支払い手続きに進む。（7頁参照）

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに受付番号が記載された登録完了メールが届くので、必ず確認すること。

※受付番号は、出願内容の確認、入学願書の印刷等で必要となるため、登録完了メールは入試終了まで大切に保管すること。

インターネット出願登録に関する注意事項

- ・12桁の受付番号は受験番号ではないため注意すること。
- ・登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。
- ・入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックして、改めて出願登録及び入学検定料の支払いをすること。誤って納入した入学検定料の返還請求については、8ページを確認すること。
- ・インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59までに入学検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため注意すること。
- ・写真は、出願写真として適切でないと判断された場合、再提出になる場合がある。

3. 入学検定料の支払い

○入学検定料

金額：36,000 円（支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。）

○支払手順

インターネット出願登録完了後、以下いずれかの手順で入学検定料の支払手続に進むこと

- ①インターネット出願登録完了後、「引き続き支払う」をクリックする。
- ②「インターネット出願サイト」トップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックする。

○支払期間

2025 年 11 月 20 日（木）～2025 年 11 月 27 日（木）

※インターネット出願登録を完了した日を含む 4 日以内の 23:59 までに入学検定料の支払手続が行われなかった場合、出願登録されたデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるため、その前に支払手続を完了すること。ただし、インターネット出願登録完了日が以下の場合、支払期間最終日が支払期限日（2025 年 11 月 27 日（木））となるため注意すること。

2025 年 11 月 25 日（火）～ 2025 年 11 月 26 日（水）

○支払方法

支払方法	取扱金融機関等
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ(Loppi)／ ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ Card／NICOS／VISA／Master Card／JCB／ AMERICAN EXPRESS
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング／PayPay 銀行／楽天銀行／ 住信 SBI ネット銀行／au じぶん銀行

※Pay-easy 対応な金融機関及び ATM については、以下 URL を参照すること。

Pay-easy が使える金融機関 <https://www.pay-easy.jp/where/index.html>

注意事項

- ・支払手続完了メールが届いていることを確認すること。このメールは、入試終了まで大切に保管すること。
- ・2026 年 3 月に本学大学院研究科（修士課程）修了見込の者は支払不要である。
- ・出願時に国費外国人留学生である者は、支払不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい提出すること。
- ・入学検定料の支払手続が完了すると、入学願書等の必要書類が印刷できるようになる。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は志願者本人でなくてもかまわない。
- ・クレジットカードでの支払いができない場合は、他のカードで決済するか別の決済手段で支払うこと。

【入学検定料免除制度】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。

手続きの詳細は「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/kenteiryo-menjo/>)」で確認すること。

- ・ **申請時期：** 入学試験のインターネット出願登録期間開始日の1週間前の日まで
- ・ **提出書類：** ○入学検定料免除申請書（本学指定様式）
○罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）
- ・ **注意事項：** インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ・ **問い合わせ先：**
東京藝術大学 学生課入学試験係
〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763
E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還】

次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しない。

- ・ 入学検定料の支払手続を行ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ・ 入学検定料の支払手続を行ったが、出願が受理されなかった場合
- ・ 2026年3月に本学大学院研究科（修士課程）修了見込の者、あるいは国費外国人留学生在が誤って入学検定料を支払った場合

返還請求する場合は、本学指定様式「検定料返還請求願」を「入試情報サイト

(<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」よりダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先に郵送すること。

・ 郵送先

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学 財務会計課経理係

・ 注意事項

- 本学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額となる。
- 入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
- 「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- 「検定料返還請求願」の提出期限は2026年3月31日（消印有効）とする。期限まで提出がない場合、入学検定料は返還しない。

4. 必要書類の郵送

○手順

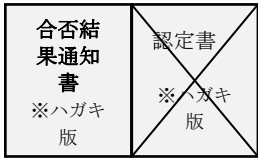
入学検定料の支払手続完了後、「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」及び「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>)」から必要書類を印刷し、必要事項を記入の上、その他の必要書類とともに本研究科に郵送すること。

○郵送期間（提出期間）

2025年11月20日（木）～2025年11月27日（木）（消印有効期間）

○必要書類

入学願書	「インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/geidai-net/)」からA4サイズ、カラーで印刷すること。
写真票	氏名は原則、戸籍と同一文字とする。日本国籍以外の者は、在留資格を記入すること。現住所は、願書記入時の住所でよい。

志望研究調書	「入試情報サイト (https://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshikil/)」から指定様式をA4サイズで印刷し、必要事項を記入すること。入学書類送付用宛名ラベルは、切り取り線で切り取った上で2枚とも提出すること(クリップ止め可、ホッチキス止め不可)。
言語に関する自己評価書	
入学書類送付用宛名ラベル	
大学院修士課程 成績証明書	出身大学長(研究科長)が証明したものを用意すること。ただし、本学大学院研究科(修士課程)在学学生及び修了生は不要。いずれも原本(カラーコピー不可)を、発行元の封筒から出して提出すること(封筒は提出不要)。
大学院修士課程修了(又は修了見込)証明書	
日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書又は合否結果通知書 (原本)	外国人留学生で、公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する「日本語能力試験(N1～N5)」を受験したことのある者は原本を提出すること。 認定結果 及び成績 に関する 証明書 (例1)  合否結果 通知書 (例2)  ※左半分のみ提出 認定結果及び成績に関する証明書(例1)原本、又は合否結果通知書(例2)原本の左半分のみを提出し、日本語能力認定書(A4縦版、ハガキ版)は提出しないこと。
その他の必要書類等	次に該当する場合は、それぞれの書類を提出すること。 ・国費外国人留学生は、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生在籍証明書」を提出すること。 ・各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本等)を提出すること。 ・成績証明書について、(編入学などにより)2年間の大学院教育を2つ以上の学校にまたがって卒えた場合は、在籍した全ての学校についての成績証明書を提出すること。 ・日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関が証明したものでなくてもよい。) 本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。

○郵送方法

- ・必要書類提出に使用する市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意すること。
- ・「インターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>)」から「封筒貼付用宛名シート」を印刷し(入学願書を印刷すると同時に印刷される)、角形2号封筒に貼り付けること。
- ・上記の角形2号封筒に必要書類を入れ、提出期間(期間中の消印有効)内に、「書留速達」で以下の送付先に郵送すること。

〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学 大学院映像研究科教務係

注意事項

- ・必要書類の提出は、郵便局の消印が提出期間内に限り受け付ける。郵便局の消印が上記期間以外、本研究科に直接持参したものは、いかなる理由があっても受け付けない。
- ・出願手続完了後は、いかなる理由であっても書類の返却は行わない。
- ・海外からの発送は、DHL や EMS など確実に届く方法で本学に送付すること。

5. 受験票の印刷

○手順

出願手続完了後、受験票が「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>) 」から印刷可能となる。(受験票の印刷が可能になった旨メールで通知される。)

志願者自身がA4サイズの用紙にカラーで印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日持参すること。

受験票は本研究科から発送しない。試験当日は受験票が必要であり、出願登録した受付番号等では受験できない。インターネット出願した際の受付番号は受験番号ではないため注意すること。

○注意事項

- ・受験票を印刷し、記載内容について必ず確認すること。「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/geidai-net/>) 」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）へ連絡すること。
- ・受験票が印刷可能になった旨の通知メールが2025年12月19日までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）へ連絡すること。

【東京藝術大学内の他の大学院との併願について】

本学内の他大学院（美術研究科、音楽研究科、国際芸術創造研究科）の入学試験を受験（併願）して差し支えない。ただし、複数の研究科に合格した場合は入学先を一つに決め、入学を辞退する研究科には「辞退届（様式任意）」を提出すること。

【受験上及び修学上の配慮申請の受付について】

本学では障害等のある志願者が、受験上および修学上、不利になることがないように配慮を行っています。受験上の配慮を希望する方は、出願に先立ち、以下の申請方法に従って事前にご相談ください。

日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車いす等を受験時に使用したい場合も、配慮が必要になることがありますので、必ずご相談ください。

「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/home/hairyo/>) 」の「受験上及び修学上の配慮申請」のページから「受験上及び修学上の配慮申請書」をダウンロードして記入し、「医師の診断書」等と併せて、出願前に大学院映像研究科教務係へ提出すること。また、出願後の不慮の事故による負傷等があった場合も、すみやかに相談すること。

10 試験の内容及び採点・評価の基準

第1次試験 次の5項目（独創性、表現技術力、専門性、新規性、意欲・将来性）を基準として総合的に評価します。

第2次試験 次の5項目（独創性、表現技術力、専門性、新規性、意欲・将来性）を基準として総合的に評価します。

- ・課された試験（論文等の提出を含む。）を一つでも受験（又は提出）しなかった者は失格（不合格）となる。

1 1 合否判定基準

総合点が基準（6 割）を満たした場合に、上位から合格とします。

1 2 入学試験の内容・日程等

1. 第1次試験（書類審査）

志願者は、指定した URL に以下の提出期限までに必要書類をアップロードして提出する。URL 及びアップロードの手順については、出願時に登録したメールアドレスに電子メールで通知する。URL 及びアップロードの手順の通知メールが 2026 年 1 月 10 日までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係へ連絡すること。指定期限までに提出のない場合は失格（不合格）となる。

提出期限：2026 年 1 月 19 日（月）12：00 まで

必要書類	注意事項
TOEFL 成績証明書又は TOEIC 成績証明書 (いずれか 1 つ) (14 頁参照)	2024 年 1 月以降に受験した TOEFL 又は TOEIC の成績証明書（スコアシート）をスキャンして PDF ファイルにしたもの。ただし、英語を公用語とする志願者については提出を免除する場合があるため、事前に大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）に問い合わせること。
論文又は映像作品 (いずれか 1 点)	・論文 修士学位論文又はこれに代わるもの（著書、訳書や原著論文等）。PDF ファイルで提出する。 日本語、英語以外の論文には、A 4 判 1 枚程度の日本語による論文要旨を付けること。 ・映像作品 修士学位作品又はこれに代わる映像作品、あるいは作品内容の分かる映像資料 1 点。 下記の形式の映像ファイルで提出する。 ・ビデオフォーマット：mp4 または mov ・動画コーデック：H. 264, H. 265 または MPEG-4 ・音声コーデック：MP3 または AAC ・解像度：HD または 4K ・ファイルサイズ：8GB 以下 ※志願者が演出・脚本・制作・技術等を担当した映像作品については、脚本を添付すること。
ポートフォリオ	志願者のこれまでの活動内容等を判りやすくまとめたもの。 例) 活動履歴の概要、作品等の研究業績、学術論文や著書の内容が分かるもの。商業誌への掲載記事等。 PDF 形式のファイルで提出し、実作品や現物の提出は不可。
研究計画書	本専攻での研究計画を、A 4 判 2 枚程度の PDF ファイルにまとめたもの。

2. 第1次試験合格者発表日時

2026 年 1 月 28 日（水）14：00 頃（13 頁参照）

※合格者には、第2次試験の日程等を発表する。

3. 第2次試験（口述試験）

口述試験 (日本語又は英語)	最初に志願者より各自の研究実績や今後の研究計画等についてのプレゼンテーションを15分以内で行い、その後に口述試験を実施する。 ※口述試験の集合時刻等は、第1次試験合格者発表時 (2026年1月28日)に「入試情報サイト (https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/)」に掲載する。 ※口述試験は「対面」で実施するが、日本国外の在住者でビザ発給の停止等のやむを得ない事情があり来日できない場合には、口述試験をオンラインで行うことがある。
-------------------	---

4. 第2次試験日時

2026年2月9日(月) 13:00

5. 第2次試験集合場所

横浜校地 馬車道校舎 1F ロビー

6. 最終合格者発表日時

2026年2月27日(金) 13:00頃(15頁参照)

13 TOEFL 又は TOEIC の成績証明書（スコア）の提出

- ・本研究科（博士後期課程）の出願において、TOEFL 又は TOEIC の成績証明書の提出が必要である。本成績証明書を本研究科に提出する月の過去2年以内（2024年1月以降）に受験した TOEFL 又は TOEIC の成績証明書を提出すること。ただし、英語を公用語とする志願者については、提出が免除される場合があるため、事前に大学院映像研究科教務係（電話：045-650-6201）に問い合わせること。
- ・成績証明書はPDF形式のファイルで提出すること。印刷されているものはスキャンしてPDFファイルにすること。

1. 提出を要する成績証明書

TOEFL 又は TOEIC の成績証明書（いずれか一つ）

2. TOEFL の成績証明書

以下二つのテストのうち、いずれか一つの成績証明書（Official Score Report）を提出すること。

・「TOEFL iBT（インターネット版 TOEFL テスト）」

・「改定版 TOEFL ペーパー版テスト」

※「TOEFL ITP」及び「TOEFL PBT（TOEFL ペーパー版）」の成績証明書の提出は認めない。

3. TOEIC の成績証明書

以下二つのテストのうち、いずれか一つの成績証明書を提出すること。

・「TOEIC Listening & Reading Test」（「公開テスト」「IPテスト」どちらも可）

・「TOEIC Speaking & Writing Tests」（「公開テスト」「IPテスト」どちらも可）

※「TOEIC Speaking Test」及び「TOEIC Bridge Test」の成績証明書の提出は認めない。

1 4 入学試験の実施方法

1. 受験における注意事項

- ・本要項以外の試験に関する事項は、試験当日及び第1次試験合格者発表日に、本学の「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>) 」で発表する。
- ・発表した試験内容や合格者発表についての照会には一切応じない。
- ・第1次試験不合格者は、第2次試験を受験することができない。
- ・不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- ・受験者は指定された集合時刻・集合場所に直接来ること。
- ・遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めない。
- ・受験票は必ず携帯すること。紛失又は忘れた時は、すみやかに申し出ること。
- ・試験中は、すべて監督官の指示に従うこと。
- ・受験者は指定された場所以外の建物や教室等には一切立ち入らないこと。
- ・試験会場は天候等によっては、環境の維持が難しい場合がある。また、試験によっては待機時間等が長くなる場合もある。温度に対しては個人差があるため、各自で調整できる服装で来ること。
- ・東京藝術大学大学院映像研究科では、受動喫煙防止を図るため、敷地内の全面禁煙を実施している。そのため、試験会場は、敷地外に設ける試験会場も含め、禁煙とする。また、周辺道路等で喫煙する場合も、周囲の迷惑とならないよう配慮するとともに、受動喫煙防止に努めること。
- ・入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者に感染させる恐れがあるため、原則として受験できない。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではない。なお、上記により受験できなかった場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行わない。
- ・試験会場の事前下見はできない。

2. 入学試験会場

東京藝術大学大学院映像研究科 横浜校地 馬車道校舎

○所在地：横浜市中区本町 4-44

○最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車5番又は7番出口すぐ

○電話：045-650-6201

1 5 合格者発表

合格発表は全て本学の入試情報サイトで行い、馬車道校舎掲示板等での掲示発表は行わない。

※以下の日時は、すべて日本標準時（JST）とする。

入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>)

1. 第1次試験合格者発表日時及び発表場所

2026年1月28日（水）

14:00 頃 「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>) 」

2. 最終合格者発表日時及び発表場所

2026年2月27日（金）

13:00 頃 「入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>) 」

3. 最終合格者への入学手続書類の郵送

- ・郵送日：2026 年 3 月 2 日（月）
- ・最終合格者が出願時提出した「入学手続書類送付用宛名ラベル」を使用して郵送する。

4. 合格者発表に関する注意事項

電話、メール等による可否の照会には一切応じない。

1 6 入学手続等

1. 手続日時

- 手続期日：2026 年 3 月 9 日（月）必着（郵送のみ）
- 郵送先：東京藝術大学 大学院映像研究科教務係（〒231-0005 横浜市中区本町 4-44）

2. 入学料

金額：338,400 円

- ・2026 年 3 月に本学大学院研究科（修士課程）を修了する者は、入学料の支払いは不要。
- ・入学手続完了者が 2026 年 3 月 31 日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。
- ・国費外国人留学生は、入学料の支払いは不要。
- ・入学料については、免除及び徴収猶予制度がある。（14 頁参照）

3. 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（3 年分）

金額：3,620 円

4. 東京藝術大学キャンパス環境整備支援会 会費（3 年分）

金額：50,000 円

「東京藝術大学キャンパス環境整備支援会」とは、東京藝術大学のキャンパス環境の充実を図るため、東京藝術大学の施設整備等に対し助成を行う会です。上記趣旨にご賛同の上、ご協力（ご入会）をお願いします。会費は入学手続時にお支払いいただきます。

5. 授業料

金額：前期分 321,480 円、後期分 321,480 円（年額 642,960 円）

- ・原則として、口座振替による支払いとなる。
- ・年額を半期ごとに支払う。（5 月下旬と 11 月下旬）
- ・在学中に授業料改定が行われた場合、改訂時から新授業料が適用される。
- ・国費外国人留学生は、授業料の支払いは不要。

6. 実習費等

入学手続きの際、研究室より別途案内する。

1 7 「入学料・授業料の免除・徴収猶予」について

東京藝術大学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度がある。希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続を行うこと。

なお、入学料・授業料支払後の各種申請はできないので注意すること。

また、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておくこと。

免除・猶予の申請要件は次のとおり

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡又は申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_defferal_tuition

●「修学支援奨学金（給付型）」について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、出身大学の成績が不振で上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

●「優秀学生への奨学金」について

東京藝術大学では、在学中特に優れた成績を修めた者に対し、各種の奨学金制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については東京藝術大学ホームページを確認すること。

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/geidai_scholarship

18 外国人留学生への注意事項

日本入国査証（ビザ）について

受験のために「短期滞在」の在留資格で来日することは可能ですが、入学が決定した場合は、入学までに「留学」の在留資格を取得してください。「短期滞在」の在留資格で入国した場合、原則日本国内に滞在したまま在留資格を「留学」にすることはできないので（一時帰国後、在留資格認定証明書（COE）の申請を行い、母国の日本大使館・領事館での査証/ビザ申請が必要）、その点予めご了承ください。

在留資格認定証明書（COE）の代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する者は、合格者に案内する必要書類を入学手続時に提出してください。

※在留資格認定・ビザの取得審査は関係省庁が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

※留学生を対象とする授業料や入学料免除・徴収猶予および大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。

※「在留資格認定証明書」の交付申請が重複しないように注意してください。

（例：他大学にも合格した場合や、何らかの事情ですでに有効な「在留資格認定証明書」を有している場合など。）申請が重複している場合、証明書は交付されません。本学による在留資格認定証明書の代理申請を希望する場合には、すでに申請している機関に取り下げを依頼してください。

19 入学試験情報の開示請求

大学院映像研究科（博士後期課程）入学試験の個人成績を受験者本人の申し出に限り開示する。申し込み方法は次のとおり。

1. 申し込み方法

インターネット出願サイト内で申請してください。成績開示手数料として、500 円が必要となりますので、入学検定料と併せてお支払いください。

2. 受付期間：インターネット出願時に受付

2025 年11 月20 日（木）10:00～2025 年11 月26 日（水）23:59 まで

3. 開示内容

○2026 年度入学試験個人成績を開示する。

○個人成績を得点又は段階評価により開示する。順位は開示しない。

4. 開示方法

インターネット出願サイトのマイページ上で開示します。出願時に登録したメールアドレスとパスワードは必ず控えてください。マイページ上にログインする際に必要です。特にパスワードを忘れた際は、出願時に登録したメールアドレスでのみ、リセットの作業が可能ですのでご注意ください。

5. 開示期間：2026 年 5 月 7 日（木）～2026 年 6 月 5 日（金）

20 個人情報の取扱いについて

本学が入学選抜試験を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほかに、次のとおり。

・利用目的

- 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で使用する。
- 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の健康管理に係わる業務で使用する。
- 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で使用する。
- 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人で特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

・第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律の第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく、他の目的で利用又は第三者に提供することはない。ただし、次の場合、必要最低限の情報を提供することがある。

- 上記「利用目的」各号の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ・東京芸術大学生協同組合
 - ・東京芸術大学キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備等に対し助成を行う会）

21 大学院映像研究科（博士後期課程）入試説明会について

博士課程の入試説明会は、開催致しません。

「映像研究科 HP＞（博士課程）映像メディア学専攻」（下記 URL）のページにおいて「博士課程の概要」と「これまでの修了生の学位論文要旨・審査結果の要旨」を掲載しておりますので、参考資料としてご覧下さい。

<https://fm.geidai.ac.jp/doctor/doctor-about/>

・問い合わせ先

東京芸術大学 大学院映像研究科教務係
電話：045-650-6201
メール：eizo.kyomu@ml.geidai.ac.jp

2026 年度

東京藝術大学

大学院映像研究科（博士後期課程）

映像メディア学専攻

学生募集要項

2025 年 8 月発行